

平成29年度

主要事業

目 次

各会計の予算規模	1
----------	---

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

史跡公園整備事業	2
AR長岡宮拡張事業	3
歴史まちづくり推進事業	4
向日市ふるさと検定実施事業	5
向日市中小企業振興融資制度拡大事業	6
放置竹林対策事業	7
地籍調査基本計画策定事業	8
道路整備推進事業	9
スマートインターチェンジ開設推進事業	10
JR向日町駅東口開設推進事業	11
阪急京都線連続立体交差推進事業	12

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

民間保育所改築支援事業	13
第2保育所建替えによる環境整備事業	14
地域子育て支援拠点拡大事業	15
地域包括ケアシステム推進事業	16
手話言語条例推進事業	17
障がいのある人のための防災手帳作成事業	18

家庭向け自立型再生可能エネルギー導入補助事業	19
大規模建築物耐震化緊急支援事業	20
耐震シェルター設置補助事業	21
防犯カメラ整備事業	22
消費生活センター相談窓口拡大事業	23
浸水対策下水道事業（和井川1号幹線整備事業）	24
石田川1号幹線水位情報システム整備事業	25
下水道長寿命化事業	26
水道管路耐震化事業	27
物集女西浄水場耐震化事業	28
学校給食センター整備事業	29
学校施設環境整備事業	30
図書館・文化資料館利用環境整備事業	31

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

ふるさと向日市創生計画改訂事業	32
情報配信強化事業（LINE、ホームページウェブアクセシビリティ対応）	33
議会映像等インターネット配信事業	34
女性活躍推進拠点整備事業	35
（仮称）向日市役所東向日別館開設準備事業	36
市民会館基本計画策定事業	37

平成29年度 向日市当初予算（案）

各会計の予算規模

（単位：千円、％）

	平成29年度 当初予算額 A	平成28年度 当初予算額 B	差引額 A－B	伸び率 A／B
一 般 会 計	18,150,000	18,100,000	50,000	0.3
国民健康保険事業特別会計	6,815,367	6,827,672	△ 12,305	△ 0.2
後期高齢者医療特別会計	681,399	649,098	32,301	5.0
介護保険事業特別会計	4,064,427	3,963,758	100,669	2.5
下水道事業特別会計	2,277,249	2,242,109	35,140	1.6
大字寺戸財産区特別会計	15,326	17,655	△ 2,329	△ 13.2
物集女財産区特別会計	3,665	3,988	△ 323	△ 8.1
水道事業会計	2,027,029	2,060,781	△ 33,752	△ 1.6
収益的収入	1,433,330	1,396,172	37,158	2.7
収益的支出	1,274,047	1,256,769	17,278	1.4
資本的収入	451,248	550,601	△ 99,353	△ 18.0
資本的支出	752,982	804,012	△ 51,030	△ 6.3
計	34,034,462	33,865,061	169,401	0.5

歴史を活かし、

活力と魅力あるまちづくり

史跡公園整備事業

史跡長岡宮跡大極殿回廊地区の史跡を保護し、既存の大極殿公園と北大極殿公園とを結んで一体化を図り、市民の憩いの場や文化交流の場となるよう「史跡公園」として整備します。

○事業内容

- ・事業地 向日市鶏冠井町大極殿地内
- ・面積 1,684.81㎡
- ・実施事業 整備工事



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
78,498 千円	39,249	35,300		3,949

AR長岡宮拡張事業

史跡長岡宮跡への理解を深め、訪ねていただくために、「AR長岡宮」の内容を更新し、地域振興・観光振興等の促進を図ります。

○事業内容

既存の「AR長岡宮」のアプリケーション内容を拡張し、専用VRゴーグルを使用して3Dプレイを可能にします。

※AR長岡宮

在りし日の長岡宮を現地で体感できるよう、スマートフォンやタブレット端末上で復元し、今、自分の前に長岡宮が存在しているかのような体験ができるもの



画面イメージ



長岡宮のオリジナル印刷



活用イメージ

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
2,981 千円	1,490			1,491

歴史まちづくり推進事業

市長公室 広報・ふるさと創生課
建設産業部 道路整備課・公園住宅課・産業振興課

市内には、縄文、弥生時代の遺跡や古墳時代の古墳群、奈良時代を創建とする向日神社をはじめとした社寺、史跡長岡宮跡、古代から発展してきた西国街道、戦国時代の西ノ岡衆など、さまざまな時代の歴史が積み重なり、連綿と続く歴史・文化資源が豊富に存在しています。

これらの歴史・文化資源を来訪者が楽しく、安全、快適に周遊できるように、観光ルートや休憩施設、多目的トイレ、観光情報板を整備し、観光振興・地域活性化を推進します。

○観光ルートの整備

歴史・文化資源をつなぎ、楽しく安全に周遊できる観光ルートを整備します。

○休憩施設等の整備

来訪者が安心・安全に歴史・文化資源を周遊できるよう、また、市内外の人々が集い交流しやすくなるように休憩施設、多目的トイレを整備します。

○観光情報板の整備

本市への来訪者が安心、安全に歴史・文化資源を周遊できるように、市内の歴史・文化資源がわかりやすく表示された案内板や説明板、道標を効果的に設置します。

■休憩施設等整備

<現状>

<整備後のイメージ>

(西向日公園)



(勝山公園)



■観光情報板整備



情報案内板 (イメージ)



道標 (イメージ)

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
212,700 千円	18,379	174,600	4,872	14,849

向日市ふるさとと検定実施事業

ふるさと向日市を特徴づける多様な資産は、長い歴史の中で生まれ、先人たちによって大切に育まれてきました。

この貴重な財産を有する向日市への関心喚起を図ることで市民の皆様のふるさと向日市に対する愛着を高めるとともに、地域全体として観光客などへのおもてなしの心を養うことで、地域の魅力をより多くの方に知っていただき、ひいては地域の活性化につなげるため、「向日市ふるさと検定」を実施します。

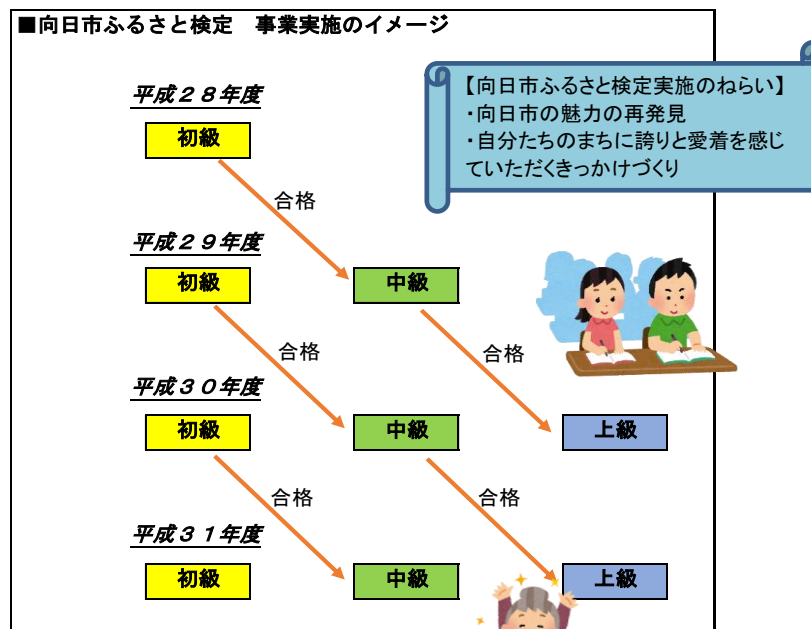
○実施内容

平成29年度は、初級に加え、中級区分を実施します。

事業の成果を地域振興につなげるため、地域観光ボランティア育成等他の事業との連携を図ります。

○平成28年度実績

- ・実施日 平成29年2月12日（日）
- ・実施区分 初級区分
- ・会場 イオンモール京都桂川3F「イオンホール」及び市内公共施設
- ・申込者数 893人



全ての市民の皆様に「ふるさと」と思ってもらえるまちづくり

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
2,514 千円			400	2,114

向日市中小企業振興融資制度拡大事業

市内中小企業者が、意欲的かつ安定的に事業に取り組むことができるよう向日市中小企業振興融資制度の拡充を図ります。

○制度の概要

市内の中小企業者に低利での融資を行うとともに、中小企業者が負担する借入金利の一部及び信用保証協会に支払う保証料の1/2に相当する額を市から補給します。

○改正内容

- ・融資限度額の引き上げ
- ・融資利率の引き下げ

○取扱金融機関

- ・京都銀行 向日町支店、東向日町支店、桂川支店
- ・京都中央信用金庫 東向日支店
- ・京都信用金庫 桂川支店

<制度拡充の内容>

■融資限度額の引き上げ

改正前：運転資金7百万円、設備資金7百万円



改正後：運転資金8百万円、設備資金10百万円

■融資利率の引き下げ

改正前：1.6%（借入者負担0.3%）
（H28.3.31以前に借り入れた場合は2.0%（借入者負担0.3%））



改正後：1.4%（借入者負担0.3%）

※現在実施している3年間の全額利子補給の緊急対策をさらに1年間延長し、平成30年3月31日までに資金を借り入れた事業者に対しても実施します。

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
12,035 千円				12,035

放置竹林対策事業

向日市の竹林は、良質なたけのこの産地として長年農家の努力により守られてきましたが、近年、後継者不足等により、一部耕作放棄地が見受けられるようになってきました。

たけのこ生産活動と竹林の景観維持の対策として、他自治体の状況調査や、竹林の適正管理のモデルケースとして、竹伐採を実施します。

○対象

- ・ 全国の竹林保有自治体
- ・ 向日市物集女町及び寺戸町 財産区保有の竹林

○内容

- ・ 竹材利活用調査及び放置竹林対策の状況調査
- ・ 竹林適正管理モデル作成のための竹伐採

○事業スケジュール

- 平成27年度] 竹林台帳作成及び意向調査
- 平成28年度]
- 平成29年度 利活用調査等
- 平成30年度 放置竹林対策（案）検討

○事業成果物の活用方法等

竹林の適切な管理を促すとともに、放置竹林の有効活用に向けた検討資料とします。

〈管理されたたけのこ畑〉



〈放置されたたけのこ畑〉



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
4,300 千円	4,300			0

地籍調査基本計画策定事業

地籍調査の実施に向けて、基本計画を策定します。

○地籍調査とは

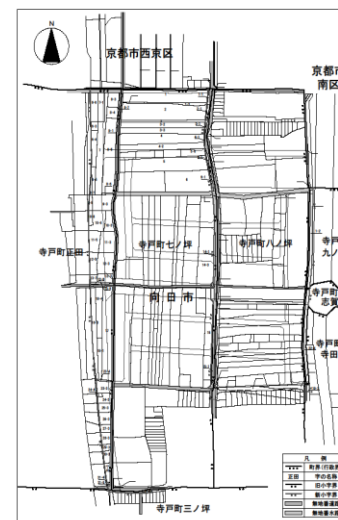
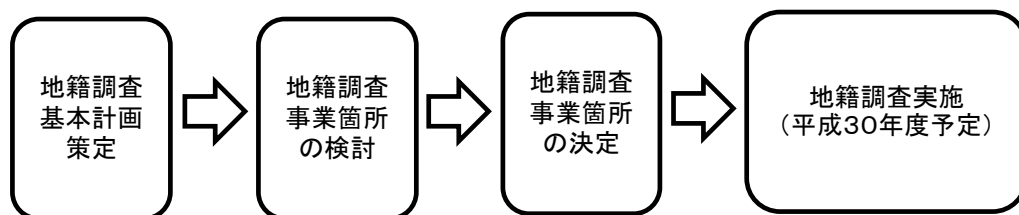
「地籍調査」とは、国土調査法に基づき、主に市町村が事業主体となって一筆ごとの土地所有者、地番、地目、境界、面積を正確に調査し測量するものです。

それにより、公共事業のコスト削減、土地利用の円滑化が図られるだけでなく、特に災害復旧の迅速化に大きな効果をもたらします。

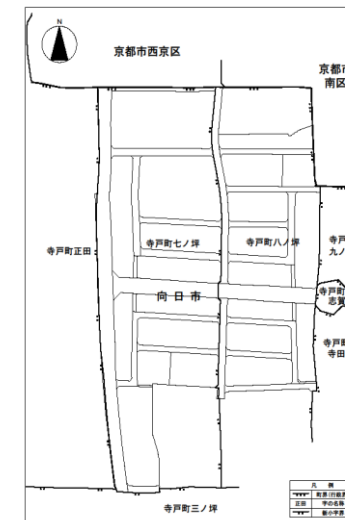
○事業内容

地籍調査の基本計画を策定することで、本市における地籍調査を緊急に実施すべき地域を絞り込み、優先的に地籍を明確にする箇所を定める。

○事業フロー



公図の例(地籍調査前)



地籍図の例(地籍調査後)

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
500 千円				500

道路整備推進事業

都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワークを構築し、活力と魅力あるまちを目指します。

また、通学路の歩道整備、自転車利用環境の改善を図るとともに、安全施設を整備し、道路利用者の安全対策を強化します。

○都市計画道路の整備

- ・桂寺戸線

○幹線市道の整備

- ・市道第2013号線
- ・市道第3031号線
- ・市道第2087号線

○生活道路・細街路の整備

- ・市道第1076号線
- ・市道第2135号線

○交通安全対策の一層の推進

- ・森本上植野幹線（自転車通行レーン）
- ・市道第4047号線（通学路歩道及び自転車通行レーン整備）
- ・寺戸幹線6号（バリアフリー特定経路歩道整備）



阪急洛西口駅東側
(桂寺戸線 事業予定地)



向日市立第4向陽小学校東側
(市道第2013号線)



J R京都線深田川踏切東側
(市道第3031号線)



J R東海道本線東側
(上植野町堀ノ内地内)
(市道第4047号線)

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
372,000 千円	188,166	161,300		22,534

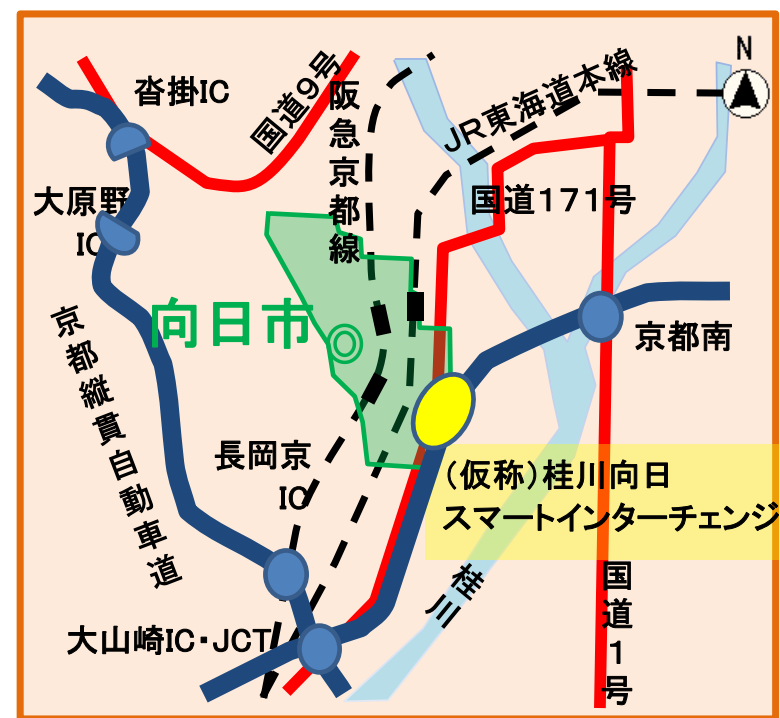
スマートインターチェンジ開設推進事業

道路交通の円滑化や地域活性化の支援、災害時の移動・運搬経路としての活用など、多方面で効果が期待できるスマートインターチェンジの開設を推進し、より便利で、より身近と感じられる安心・安全なまちの実現を図ります。

また、高速道路に接続される新たなアクセス拠点として整備することにより、企業誘致や観光振興等の施策を効果的に促進します。

○実施内容

事業の実現に向けて、関係機関との協議を進めるとともに、協議に必要な図面、資料等の作成を行います。



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
16,000 千円				16,000

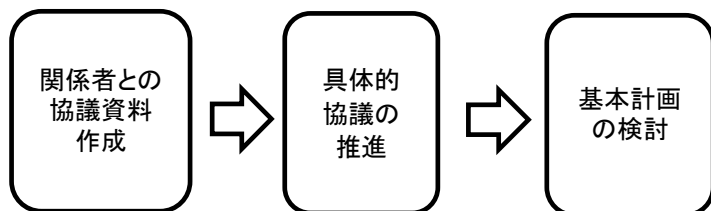
JR向日町駅東口開設推進事業

誰もが安心・安全で、より快適に駅を利用できるまちを目指し、JR向日町駅の東口開設に向けた駅周辺施設の基本計画を作成するための検討を実施します。

○事業内容

東口開設に向けて必要となる駅前広場などの駅周辺施設について、鉄道事業者、土地所有者等との協議に必要な資料作成を行うとともに、関係機関との協議を推進し、基本計画の検討を進めます。

○事業フロー



JR向日町駅（東側）



J R向日町駅（東側）



J R向日町駅（西側）

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
99,000 千円				99,000

人と暮らしに

明るくやさしい まちづくり

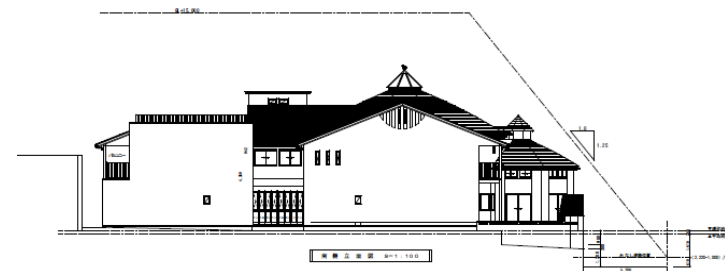
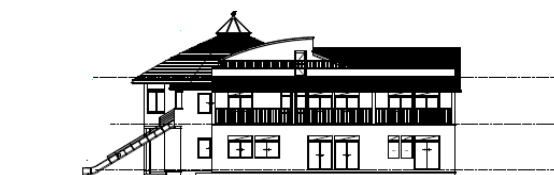
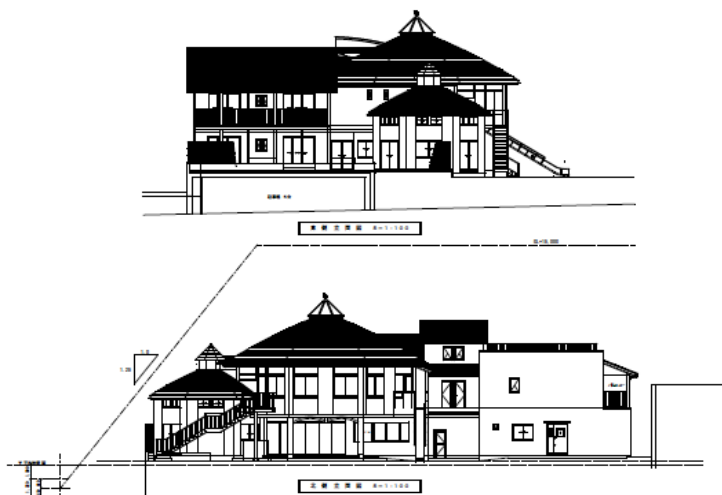
民間保育所改築支援事業

待機児童解消のため園舎の建替えを行う社会福祉法人に対し、施設整備費の一部を補助します。

○施設の概要

- ・名称 あひるが丘保育園
- ・場所 向日市物集女町北ノ口65-2
- ・運営法人 社会福祉法人 洛西永正福社会
- ・定員 125人（改築前：120人）
- ・敷地面積 1,422.23㎡
- ・開設予定 平成30年4月

園舎（イメージ）



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
177,871 千円	158,107			19,764

第2 保育所建替えによる環境整備事業

築後相当年を経過する第2保育所の建替えに当たり、優良な社会福祉法人を誘致します。

既存の園舎を解体し、民間事業者による新園舎の開設・運営がなされるまでの間、仮設園舎において安心・安全な保育を確保します。

○市立第2保育所

- ・場 所 向日市物集女町南条63-2
- ・定 員 120人
- ・延床面積 757.25㎡
- ・敷地面積 1,887.61㎡
- ・開 所 年 1968年

○債務負担行為額

64,000千円（平成29年度～平成31年度）

○新築園舎（イメージ）



※華月つばさ保育園：平成28年11月開園

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
34,500千円				34,500

地域子育て支援拠点拡大事業

地域の身近な場所で、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安、悩みを相談できる場を拡充します。

NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て中の当事者による支え合いにより、地域の子育て力の向上を目指します。

○民間による子育て支援拠点の拡充

平成28年度（1か所）

・つどいのひろば ねこぼす



平成29年度（3か所）

・つどいのひろば ねこぼす

・子育てひろば さくらんぼ (拡)

・まこと幼稚園 マナハウス (拡)

- ・駅近3か所で市内一円をカバー
- ・土曜・日曜（1か所）も開所し、全ての子育て世帯に対応
- ・国際結婚家庭の子育て支援・双子や三つ子等多胎児を持つ親等のケースへの支援も充実
- ・独自の連携ルートにより、臨床心理士や助産師など専門職が定期的に子育て支援を実施
- ・カフェ事業など、軽微な飲食も可能

【位置図】



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
15,547 千円	10,364			5,183

地域包括ケアシステム推進事業

超高齢化社会を迎えるにあたって、高齢者の皆様が「住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまち」を目指し、地域包括ケアシステムを推進します。

○地域包括支援センターの充実

地域包括ケアシステム推進の中心となる地域包括支援センターの相談事業や介護予防ケアマネジメント体制を強化し、センターの機能を充実させます。

○介護予防・日常生活支援総合事業の開始

要支援の方に対して、従来どおりの訪問介護（ホームヘルプ）・通所介護事業（デイサービス）を市が実施する総合事業で提供します。

様々な提供主体による多様なサービスを提供していきます。

今後増え続けていくと見込まれる認知症の方やご家族をサポートするために、認知症サポート医を中心とした「認知症初期集中支援チーム」を設置します。

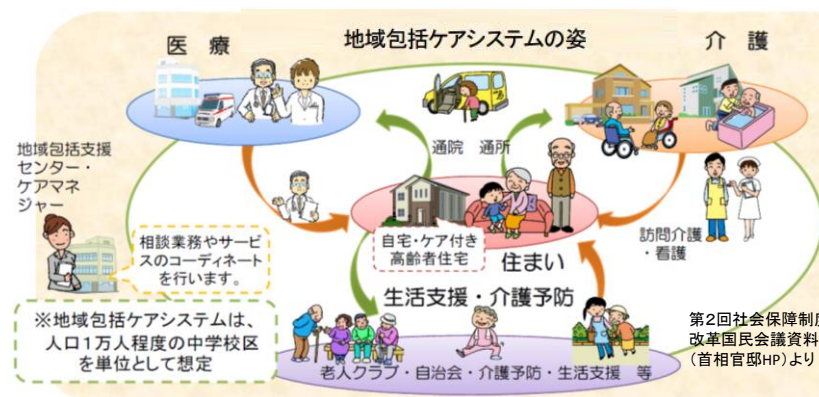
○協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置

地域に不足しているサービスの把握と高齢者のニーズをマッチングさせるために、福祉関係者を中心とした協議体を設置します。

高齢者を取り巻く現状や地域における課題を把握し、今後のまちづくりに反映させるために協議体の中心となる生活支援コーディネーターを配置します。

○特別養護老人ホームの増床

特別養護老人ホーム入所の待機者軽減に向け、市内短期入所施設の一部を特別養護老人ホームに転換します。



認知症初期集中支援チームのメンバー



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
163,677 千円	77,750		56,433	29,494

手話言語条例推進事業

平成29年3月3日から施行となる「古都のむこう、ふれあい深める手話言語条例」により、手話に対する理解の促進と普及を図り、手話によるコミュニケーションを図りやすい環境を構築することが求められます。

平成29年度は、手話を広く紹介する動画を作成し、市ホームページに掲載します。

さらに、手話通訳者の活動がより一層広がることを想定し、手話通訳者による意思疎通支援を拡充します。

【手話啓発動画作成事業】

様々なシチュエーションに応じた分かりやすい動画を作成し、市ホームページに掲載します。

○目的

手話を広く紹介し、気軽に学んでもらうためのツールを提供します。

動画の中で、聞こえない方の生活（困りごと等）を紹介することにより、障がいに対する理解を広げます。

【登録手話通訳者活動謝金の増額】

条例の施行に伴い、手話通訳の依頼の増加が見込まれることから、登録手話通訳者活動謝金を増額します。

～ 手話啓発動画のイメージ ～



「物を落としたから親切で声をかけているのに、無視した」と怒鳴られることがあります。（目の前に示されて初めてわかります。）
道を尋ねられたときも、困ります。

駅や電車内での遅延情報が聞こえず、取り残されることがあります。最近では、一部の駅や車両で遅延情報や次の駅を視覚化して表示するところも増えています。



～ 手話通訳者の活動の様子 ～



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
1,700 千円	750			950

障がいのある人のための防災手帳作成事業

災害時や緊急時、多くの支援や特別な配慮を必要とする障がいのある方が、必要な支援等を受けられるよう、障がいのある人のための防災手帳を作成します。

○内容

障がいの種類に応じた支援すべき要点をあらかじめ記載するとともに、障がい等の情報や治療中の疾病、服用している薬などを各自で記入するページを設けることで、防災手帳の所有者と接する支援者に対して必要な情報を確実に伝え、適切な支援が行えるようにします。

○作成部数

障がい者手帳をお持ちの方、難病患者の方を対象に、4,000部作成します。



(参考) 交野市防災手帳

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
1,836千円	918			918

家庭向け自立型再生可能エネルギー導入補助事業

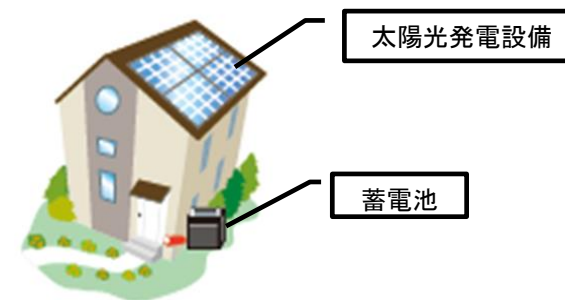
再生可能エネルギーの普及を図るため、太陽光発電と蓄電池を同時に設置・導入する家庭に対して、京都府と連携して補助金を交付します。

○実施内容

京都府の補助制度と連携して、戸建住宅に太陽光発電システム及び蓄電システムを同時設置する個人に助成します。

○補助金額

- ・太陽光発電：1万円/kW（上限5万円）
- ・蓄電池：5万円/kWh（上限30万円）



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
3,500 千円	3,400			100

大規模建築物耐震化緊急支援事業

本市において、地震による建築物の倒壊等の被害から市民の皆様の生命を守り、今後起こりうる地震に対し強いまちづくりを推進するため、耐震診断を受けることが義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物に該当する建築物の所有者に対し、耐震診断の結果、安全性の向上を図る必要があると認められた建築物の耐震改修等において、補助を実施します。

○対象

- ・ 医療法人真正会 向日回生病院



向日回生病院
位置図



向日回生病院

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
19,304 千円	14,477			4,827

耐震シェルター設置補助事業

本市において、建築物の倒壊等から市民の生命を守り、地震に強いまちづくりを推進するため、耐震性が低く、耐震改修が困難な住宅に対し、地震発生時の安全な空間確保を目的として、高齢者等が耐震シェルターを設置する際の経費の一部を補助します。

○対象住宅

- ・昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅
- ・60歳以上の高齢者や障がい者等が居住している住宅
- ・簡易な耐震診断により、耐震性不足が確認された住宅
- ・耐震改修工事等の併用を行わない住宅

○補助額

耐震シェルターの設置に要する工事費のうち、限度額40万円の3/4、30万円までを補助します。



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
1,500 千円	1,125			375

防犯カメラ整備事業

前年度に引き続き、地域力を生かした防犯活動など、市民の皆様や関係機関と連携して安心安全なまちづくりを推進するため、防犯カメラの設置数を拡大し、さらなる犯罪の未然防止等を図ります。

○設置箇所

本年度は、市内での犯罪発生状況を踏まえるとともに、地域や学校からの要望を伺いながら、通学路などへの設置を進めます。

※平成28年度設置箇所

- ・ 阪急東向日駅、西向日駅及びJR向日町駅周辺 等



28年度設置カメラ



通学路(イメージ)

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
6,111 千円	3,000			3,111

消費生活センター相談窓口拡大事業

事業者に対する消費者からの苦情に係る相談に応じるほか、苦情の処理のためのあっせんなどを行う消費生活センターについて、窓口開設時間を拡大し、より多くの相談者に安心・安全を提供します。

○窓口の拡大内容

□

平成28年度

月・水 9時から16時まで
火・木・金 13時から16時まで



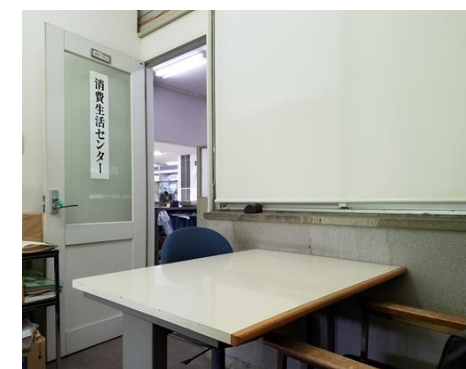
平成29年度

月～金 9時から16時まで

※いずれも、正午から13時までを除く。



消費生活センター相談室



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
4,433 千円	1,307			3,126

浸水対策下水道事業（和井川1号幹線整備事業）

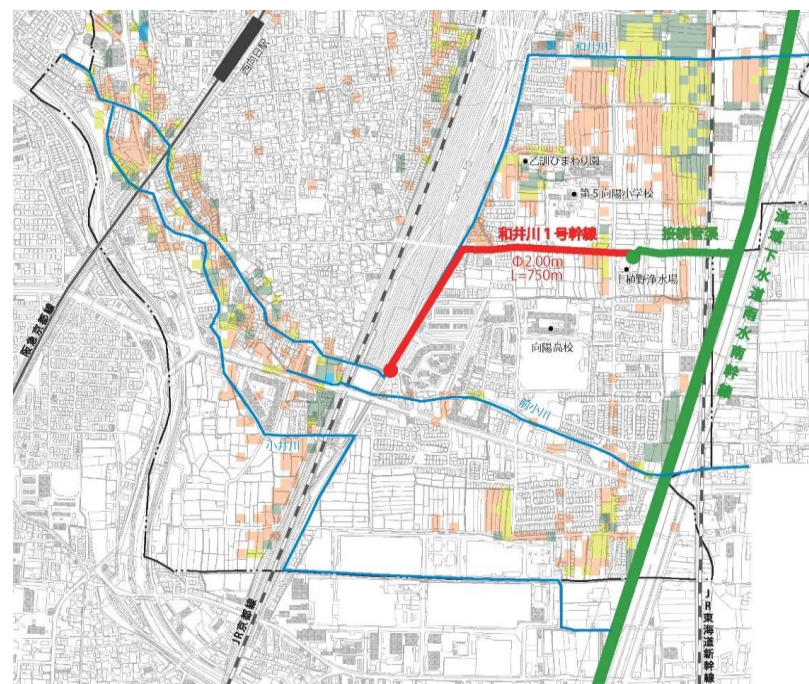
局地化、激甚化する降雨にも対応するため、雨水幹線整備を進め、更なる浸水安全度向上に努めます。

○事業内容

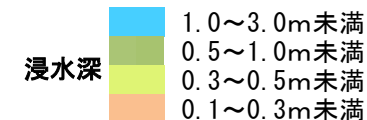
京都府桂川右岸流域下水道「いろは呑龍トンネル」南幹線に接続することから、府事業の進捗にあわせて、和井川1号幹線の測量、土質調査及び詳細設計を行います。

○事業スケジュール

- 平成29年度 測量、土質調査及び詳細設計
- 平成30年度 地下埋設物移設
- 平成31年度～ 工事



〈平面図：和井川1号幹線〉



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
60,000 千円	30,000	30,000		0

石田川1号幹線水位情報システム整備事業

雨水幹線貯留水位等の情報をリアルタイムで提供することにより、災害に対する備えとして、市民の皆様への安心・安全につながる防災情報を発信します。

○実施内容

市ホームページで石田川1号幹線の水位情報等をリアルタイムで発信します。

- ・石田川1号幹線水位及び稼働状況
 - ①貯留開始
 - ②1号ポンプ運転
 - ③1号ポンプ停止
 - ④2号ポンプ運転
 - ⑤2号ポンプ停止
 - ⑥石田川1号幹線水位
 - ⑦異常発生
- ・寺戸川
 - ⑧深田川橋公園横
 - ⑨久々相、JR官舎横
- ・石田川
 - ⑩梅ノ木踏切西側



〈寺戸川：深田川橋公園横の水位計〉



〈上植野浄水場：監視制御設備〉

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
2,500 千円		2,500		0

下水道長寿命化事業

下水道施設の長寿命化を図るため、汚水管の点検を行い、損傷の小さい段階で適切な補修を行います。

また、浸入水対策を行うことで、汚水処理費用を節減し、施設の適切な維持管理を行うことにより、快適な生活環境を確保します。

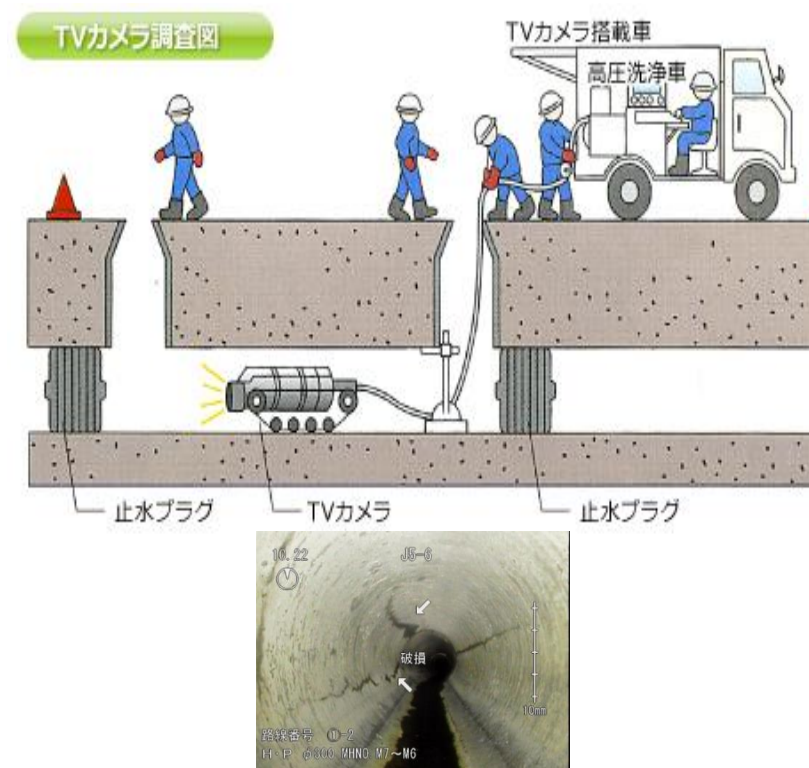
○実施内容

汚水幹線を自走式テレビカメラによって調査します。

- ・幹線総延長 13 km
- ・調査対象延長（鉄筋コンクリート管） 10 km

○事業スケジュール

- ・平成29年度 下水道本管テレビカメラ調査 800 m



〈管渠内部の状況〉

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
2,500 千円	1,250			1,250

水道管路耐震化事業

災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給するため、優先度の高い箇所から耐震管への更新を進めます。

○基幹管路更新工事

- ・配水本管 寺戸町芝山地区他 (口径 400mm L=400m)
- ・導水管 寺戸町石田地区他 (口径 300mm他 L=180m)

○配水管更新工事

- ・物集女地区 (口径 50mm他 L=224m)
- ・寺戸地区 (口径 150mm他 L=317m)
- ・森本地区 (口径 100mm他 L=302m)
- ・鶏冠井地区 (口径 50mm他 L= 51m)
- ・上植野地区 (口径 50mm他 L=218m)
- ・西向日地区 (口径 50mm他 L=170m)



基幹管路更新工事（耐震管の設置）



耐震管の接続

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
323,000 千円	39,750	186,700		96,550

物集女西浄水場耐震化事業

災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給するために、浄水場施設の耐震補強工事を行います。

○施設

- ・酸化池
- ・急速ろ過池
- ・高架水槽(平成30年度予定)

○管路

- ・場内連絡管耐震化工事(第1期)
- ・場内連絡管耐震化工事(第2期・平成31年度予定)



急速ろ過池(外観)



急速ろ過池(建屋内)

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
59,000 千円	7,666			51,334

学校給食センター整備事業 (平成28年度3月補正)

中学校給食の早期導入に向けて、中学生に温かく、安心・安全で、かつ衛生的な給食を提供できる環境を整えるため、学校給食センターを整備します。

○建設地

- ・西ノ岡中学校

○事業内容

- ・埋蔵文化財発掘調査
- ・給食施設建設

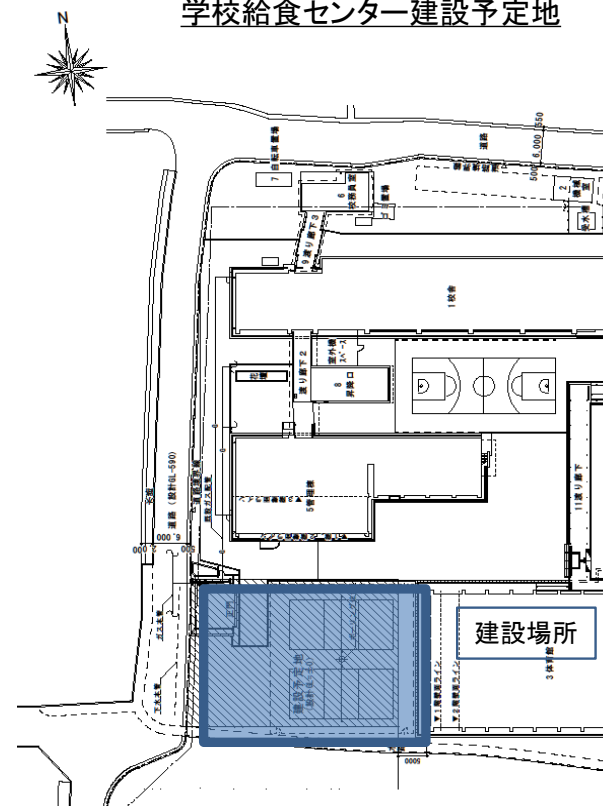
○事業計画

- 平成29年度 埋蔵文化財発掘調査
- 給食施設建設着手
- 平成30年度 給食施設建設完了

○債務負担行為額

216,000千円 (平成29年度～平成30年度)

学校給食センター建設予定地



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
149,000千円	46,891	97,000		5,109

学校施設環境整備事業 (平成28年度3月補正)

児童生徒が快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施します。

○実施対象 (平成29年度)

- ・ 向陽小学校 ・ 第3向陽小学校 ・ 第4向陽小学校
- ・ 第5向陽小学校 ・ 第6向陽小学校
- ・ 勝山中学校 ・ 西ノ岡中学校 ・ 寺戸中学校

○事業内容

- ・ 便器、照明器具、手洗器具、床などの改修

○事業計画

計画期間

- ・ 平成28年度 ～ 平成32年度

実施方針

- ・ 各校毎年度1か所改修
- ・ 原則として校舎各階1か所改修

実施対象

- ・ 向陽小学校 ・ 第2向陽小学校 ・ 第3向陽小学校
- ・ 第4向陽小学校 ・ 第5向陽小学校 ・ 第6向陽小学校
- ・ 勝山中学校 ・ 西ノ岡中学校 ・ 寺戸中学校



■トイレ改修後



■トイレ改修後

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
106,900 千円	25,327	81,400		173

図書館・文化資料館利用環境整備事業

市民の皆様にとって、身近で、より利用しやすい図書館・文化資料館を目指し、開館日を増やし、市民サービスの向上を図ります。

○開館日数

従来の祝日・休日開館の振替休館日について、開館します（月曜日が祝日・休日の場合は除きます。）。

平成29年度は、開館日が従来より14日間増加します。

例. 平成29年5月の休館日

従来

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	③	④	⑤	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成29年度

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	③	④	⑤	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日

※資料整理日等を除きます。



図書館・文化資料館全景



文化資料館見学風景



図書館おはなしひろば

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
682 千円				682

信頼と協働で

市民の声が届くまちづくり

ふるさと向日市創生計画改訂事業

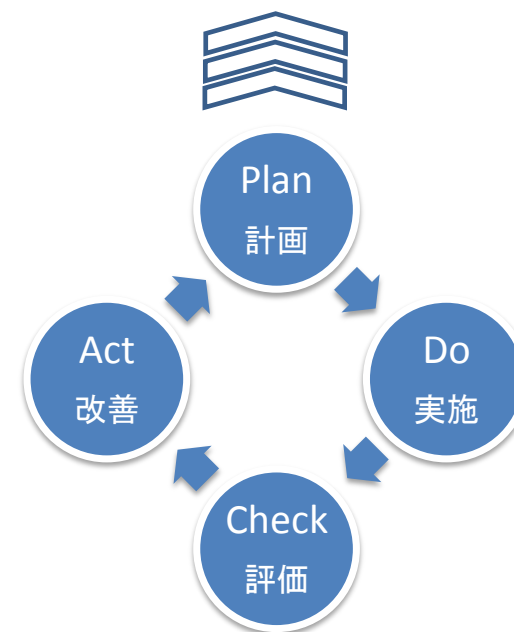
平成27年度に策定した本市の最上位計画「ふるさと向日市創生計画」は、まちづくり課題への迅速な対応、そして次代の発展への礎を築いていくため、重点・優先して取り組む施策を明らかにし、平成31年度までの5か年を計画期間としています。

本計画の推進にあたって、急激に変化する時代や環境の変化にスピード感を持って、しなやかに対応していくため、毎年見直しを行うものです。

○事業内容

施策の進捗状況や社会情勢に応じて計画を精査し、外部有識者委員会や市議会、市民の皆様の意見を踏まえて、見直します。

歴史を活かした「ふるさと向日市」の創生



事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
690 千円				690

情報配信強化事業（LINE、ホームページアクセシビリティ対応）

市の新たな情報配信ツールとして、国内で最大の利用者数をもつSNSサービス「LINE」を開始します。また、ホームページを高齢者や障がい者を含むすべての人により利用しやすくするため、国の定めるウェブアクセシビリティへの対応を行います。

これら情報配信ツールの拡充を行うことで、市民の皆様のふるさと向日市に対する愛着を高めるとともに、市外の方へのPRを推進し、市の活性化につなげます。

※ウェブアクセシビリティとは高齢者や障がい者を含め、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることをいいます。

○ホームページウェブアクセシビリティ対応

- ・既存ページの見直しと運用フローの改善
- ・ウェブアクセシビリティガイドラインの制定と公開

○「LINE」サービスによる情報配信

- ・市民の皆様へリアルタイムに市政やくらしの情報を提供
- ・リサーチ機能を用いたアンケート調査の実施による市民の皆様への意向把握

情報配信ツール強化のイメージ

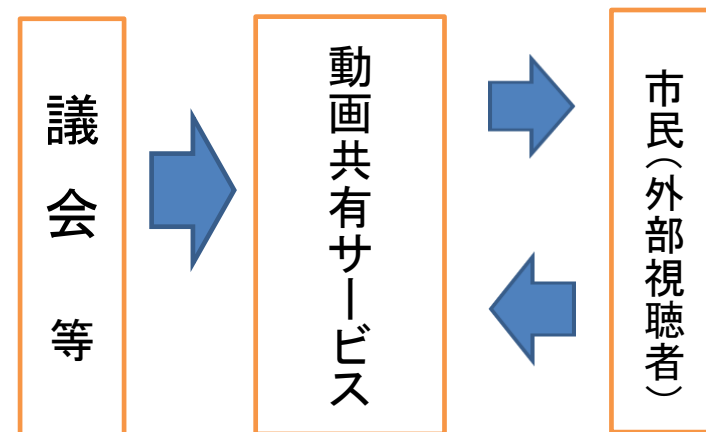


事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
986 千円				986

議会映像等インターネット配信事業

市民の皆様が開かれた議会を目指す広報活動の一環として、議会の映像をインターネット上で配信（ライブ・録画）します。

また、一般公開のもとで行われることとされている市の審議会等をインターネット上で配信できるよう、大会議室にウェブカメラを設置します。



(イメージ写真)

パソコン、タブレット、スマートフォンなどから視聴が可能

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
1,000 千円				1,000

女性活躍推進拠点整備事業 (平成28年度3月補正)

女性が今よりもっと活躍でき、自分らしく輝き、仕事も子育ても充実するワークライフバランスを推進し、安心して出産、子育てできる活力ある地域づくりのための拠点を整備します。

○キラキラ輝く未来にトライ！支援環境整備事業 ～女性の起業を支援するために、コワーキングスペース 及びお試しオフィススペースに必要な環境を整備します～

- ・コワーキングスペース
執務スペース、会議室、ライブラリーとインターネット環境の整備された空間を他の起業家と共有しながら、ほどよい距離で仕事ができる場
- ・お試しオフィススペース
物品販売やカフェなどで、販売、接客等の起業に関するノウハウの短期体験とテストマーケティングを実践できる場

○ココからチャレンジ！キャリアカムバック応援環境整備事業 ～子育てを機に一旦離職した女性の 再活支援のため、必要な環境を整備します～

- ・サポートルーム
民間やジョブパークと連携し、アドバイザーによる相談を実施する場
- ・アクティブスペース
音響設備を配置した様々な活動ができる場
- ・チャイルドルーム
保育スペース



コワーキングスペース



女性のための講座（イメージ）



お試しオフィススペース

《拠点整備イメージ》

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
126,620 千円	63,310	59,300		4,010

(仮称) 向日市役所東向日別館開設準備事業

向日市役所本館の耐震診断の結果、耐震補強が必要となり、現有面積を維持したまま市役所業務を行うことが難しいと考えられることから、市役所機能、主に窓口業務の一部を移転することで、市役所機能を確保するとともに、市民の皆様の利便性の向上を図るため、東向日駅前に建設中の「グランマークシティ東向日駅前」の事務所スペースの区分所有権を取得します。

イメージ図



○所在地

- ・向日市寺戸町小佃5番地の1

○面積、取得価格及び取得時期

- ・面積 1,427.02㎡
- ・取得価格 164,300,000円
- ・取得時期 平成30年3月

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
164,300 千円		123,200		41,100

市民会館基本計画策定事業

市民会館及び中央公民館について、今後のあり方を検討するため、基本計画を策定します。

○施設の現況

- ・開設 昭和47年11月3日
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨4階建て
- ・敷地面積 2,319㎡
- ・建築面積 2,919㎡
- ・施設内容

ホール 425席（固定席）
会議室等

	定員（人）	面積（㎡）
第1会議室	144	187
第2会議室	40	99
第3会議室	20	36
第4会議室	15	38
第5会議室	40	99
第6会議室	8	16
調理実習室	42	176
和室	40	73



現在の外観

事業費	財源内訳			
	国・府	地方債	その他	一般財源
3,000 千円				3,000